

平成24年度

大山町決算

平成24年度一般会計決算と17の特別会計の決算と水道事業決算が大山町議会9月定例会で、4つの財産区特別会計が大山町財産区議会でそれぞれ認定されました。

一般会計の歳入は107億5,500万円でした。中山・大山地区拠点保育所整備事業の完了により町債（借入金）が4億9,840万円の減となったこと、固定資産税の評価替による減、法人税の減などにより町税が4,226万円の減となったこと、大きな災害がなかったことにより特別交付税が1億371万円の減となったことなどが主な原因となり、前年度と比べて9億3,985万円の大幅な減となりました。

一般会計の歳出は、103億49万円でした。中山・大山地区拠点保育所整備事業7億9,234万円の減、平成22年度の大雪による園芸施設等復旧対策事業7,762万円の減、制度改正による子ども手当・児童手当給付事業2,876万円の減などが原因となり、前年度と比べて8億6,029万円の大幅な減となりました。

一般会計
歳入

107億5,500万円

(前年度比 9億3,985万円の減)

